



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月4日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社オンワードホールディングス
 コード番号 8016 URL http://www.onward-hd.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 (氏名)廣内 武
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理部門担当 (氏名)吉沢 正明 (TEL)03(4512)1030
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年3月1日~平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	73,561	1.7	5,963	△8.9	5,807	△19.2	3,528	△8.1
26年2月期第1四半期	72,361	6.8	6,548	3.3	7,184	19.2	3,841	36.5

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 4,040百万円(△58.6%) 26年2月期第1四半期 9,766百万円(332.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	22.48	22.24
26年2月期第1四半期	24.49	24.25

(注) 当第1四半期連結会計期間より表示方法の変更をおこなっています。26年2月期第1四半期についても当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値および対前年同四半期増減率を記載しています。この変更により、売上高および営業利益を変更していますが、経常利益および四半期純利益の変更はありません。詳細は、【添付資料】P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(4)追加情報」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第1四半期	318,617	175,338	54.4
26年2月期	313,430	175,028	55.2

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期173,379百万円 26年2月期173,096百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	—	—	24.00	24.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日~平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	136,500	2.8	4,000	9.6	4,800	0.6	1,700	3.0	10.83
通期	290,700	3.8	12,300	20.6	13,700	12.2	5,400	15.9	34.41

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当第1四半期連結会計期間より表示方法の変更をおこなっています。増減率については、第2四半期(累計)および通期ともに、当該表示方法の変更を反映した組替え後の前年同期数値を用いて算出しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年2月期1Q	172,921,669株	26年2月期	172,921,669株
27年2月期1Q	15,989,142株	26年2月期	15,988,357株
27年2月期1Q	156,932,902株	26年2月期1Q	156,879,550株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成26年3月1日～平成26年5月31日)におけるわが国経済は、企業収益や個人消費の改善の動きがみられるなど、全体としては緩やかな回復基調となりました。

当アパレル・ファッション業界においては、高額品を中心に消費税率引上げ前の駆け込み需要はあったものの、4月以降の反動減や消費者の節約志向もあり、先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境のなか、当社グループは国内事業、海外事業とも選択と集中を更に進め、基幹事業および主力ブランドへ必要な投資を行い、安定的で収益性の高い事業の拡大と今後成長が見込める分野や市場に向けた新規ビジネスの開発を進めました。

国内事業は、株式会社オンワード樫山を中心に顧客視点による質の高い商品・環境・サービスの追求を更に推進したことにより、主力ブランドは計画どおりの業績となりました。その他の国内子会社では回復が遅れている子会社も一部にはありますが、国内事業全体としては前年を上回る結果となりました。

海外事業は、欧州地区の業績改善が第2四半期以降に見込まれ、また、アジア地区の回復が予想以上に遅れていることから厳しい業績となりました。

以上の結果、連結売上高は735億61百万円(前年同期比1.7%増)、連結営業利益は59億63百万円(前年同期比8.9%減)、連結経常利益は58億7百万円(前年同期比19.2%減)、連結四半期純利益は35億28百万円(前年同期比8.1%減)となりました。

セグメントの状況は、次のとおりです。

① アパレル関連事業

国内事業は、株式会社オンワード樫山が、主力ブランドの安定的な収益拡大と、メンズ事業の回復ならびにネットビジネスが好調に推移したことにより増収増益となりました。その他の国内子会社も全体としては前年を上回る結果となりました。また、海外事業は、欧州事業の業績改善が今後見込まれるものの、第1四半期は減益となりました。

② その他の事業

サービス関連事業は、ファッション物流事業のアクロストラנסポート株式会社は、計画どおりの業績となりましたが、商業施設等の設計・施工事業の株式会社オンワードクリエイティブセンターは、グループ内取引の減少と資材の高騰等により減収減益となりました。また、リゾート関連事業は、好調に推移し計画を上回る業績となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ51億86百万円増加し、3,186億17百万円となりました。負債は、前連結会計年度末に比べ48億77百万円増加し、1,432億78百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ3億9百万円増加し、1,753億38百万円となり、自己資本比率は、54.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成27年2月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、平成26年4月4日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(表示方法の変更)

従来、「営業外収益」に計上していました「受取ロイヤリティー」および「営業外費用」に計上していました「支払ロイヤリティー」を、当第1四半期連結会計期間より、それぞれ「売上高」、「売上原価」に含めて計上しています。

当社グループは、海外事業の積極的な収益拡大を目的として、欧州地区でオンワードラグジュアリーグループの高品質な商品の生産機能と、ジルサンダーグループの高いブランド力とのシナジーを更に高めるために、事業会社の再編を進めるなど、「ブランド軸経営」の推進を加速しています。このような状況の中で、ブランドにかかる当該収入の金額的重要性が、今後さらに高まることを見込まれることから、当社グループの実態を適切に表示するために変更をおこなうものです。

また、この変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っています。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「受取ロイヤリティー」に表示していた187百万円は「売上高」に、「営業外費用」の「その他」に含めて表示していた「支払ロイヤリティー」29百万円は「売上原価」に組替えています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,375	25,799
受取手形及び売掛金	28,250	31,880
商品及び製品	34,365	36,327
仕掛品	1,668	1,089
原材料及び貯蔵品	4,645	4,289
その他	14,677	16,064
貸倒引当金	△635	△604
流動資産合計	110,349	114,845
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,843	28,076
土地	56,322	56,287
その他(純額)	18,712	19,760
有形固定資産合計	102,878	104,124
無形固定資産		
のれん	29,740	28,905
その他	4,535	5,396
無形固定資産合計	34,276	34,302
投資その他の資産		
投資有価証券	49,161	48,612
その他	19,736	19,695
貸倒引当金	△2,971	△2,962
投資その他の資産合計	65,926	65,345
固定資産合計	203,081	203,772
資産合計	313,430	318,617

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,305	37,602
短期借入金	44,956	37,201
未払法人税等	955	1,353
賞与引当金	1,286	1,881
役員賞与引当金	186	44
返品調整引当金	496	581
ポイント引当金	264	280
その他	14,557	17,048
流動負債合計	101,009	95,994
固定負債		
長期借入金	13,901	23,862
退職給付引当金	3,420	3,362
役員退職慰労引当金	136	142
その他	19,932	19,917
固定負債合計	37,391	47,284
負債合計	138,401	143,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,043	50,043
利益剰余金	121,007	120,769
自己株式	△23,052	△23,053
株主資本合計	178,077	177,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,004	5,640
繰延ヘッジ損益	△33	△60
土地再評価差額金	△12,502	△12,502
為替換算調整勘定	2,550	2,463
その他の包括利益累計額合計	△4,981	△4,459
新株予約権	823	856
少数株主持分	1,109	1,102
純資産合計	175,028	175,338
負債純資産合計	313,430	318,617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	72,361	73,561
売上原価	36,642	37,020
売上総利益	35,719	36,541
販売費及び一般管理費	29,170	30,577
営業利益	6,548	5,963
営業外収益		
受取地代家賃	165	195
為替差益	302	-
持分法による投資利益	63	-
その他	427	333
営業外収益合計	959	528
営業外費用		
支払利息	156	147
持分法による投資損失	-	256
その他	166	280
営業外費用合計	322	684
経常利益	7,184	5,807
特別利益		
固定資産売却益	170	0
投資有価証券売却益	887	1,244
特別利益合計	1,058	1,244
特別損失		
固定資産処分損	11	18
減損損失	74	-
特別損失合計	86	18
税金等調整前四半期純利益	8,155	7,033
法人税等合計	4,313	3,502
少数株主損益調整前四半期純利益	3,842	3,531
少数株主利益	1	2
四半期純利益	3,841	3,528

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,842	3,531
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,395	696
繰延ヘッジ損益	142	△27
為替換算調整勘定	2,013	△190
持分法適用会社に対する持分相当額	372	29
その他の包括利益合計	5,924	508
四半期包括利益	9,766	4,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,718	4,050
少数株主に係る四半期包括利益	47	△10

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業				その他の の事業	計	調 整 額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	(日本)	(欧州)	(アジア ・北米)	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	55,114	10,727	1,800	67,642	4,719	72,361	—	72,361
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	333	135	93	562	2,629	3,191	△3,191	—
計	55,448	10,862	1,893	68,204	7,349	75,553	△3,191	72,361
セグメント利益又は損失 (△)	6,626	64	△38	6,652	602	7,254	△706	6,548

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△706百万円には、のれんの償却額△893百万円およびセグメント間取引消去1,085百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△899百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

(注) 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

(注) 3. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(4)追加情報」に記載のとおり、第1四半期連結累計期間について表示方法の変更にもなう組替え後の数値を記載しています。

この結果、外部顧客への売上高がアパレル関連事業(日本)において69百万円、(欧州)において118百万円、合計187百万円増加し、セグメント利益がアパレル関連事業(日本)において39百万円、(欧州)において118百万円、合計157百万円増加しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結会計期間における、重要な発生及び変動はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業				その他の の事業	計	調 整 額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	(日本)	(欧州)	(アジア ・北米)	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	55,664	11,819	1,502	68,987	4,574	73,561	—	73,561
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	325	404	129	859	2,211	3,071	△3,071	—
計	55,990	12,224	1,631	69,846	6,786	76,632	△3,071	73,561
セグメント利益又は損失 (△)	7,057	△544	△421	6,091	589	6,680	△717	5,963

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△717百万円には、のれんの償却額△836百万円およびセグメント間取引消去1,065百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△946百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

(注) 2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結会計期間における、重要な発生及び変動はありません。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。